

佐賀大学美術館

特美の創始者

# 石本秀雄のアトリエ

〔入館料〕無料

〔開館時間〕10時～17時（月曜休館）

※5月5日、6日は開館いたしません。

入館は16時30分まで

佐賀大学美術館 〒840-8502 佐賀市本庄町1番地

電話 0952-28-88333 <http://www.suam102.com>

2014年3月20日(木)

～5月6日(火)

「白い服の少女」1950(昭和25) 佐賀大学蔵



明治41年、西彼杵郡福田村に生まれ、昭和2年東京美術学校師範科に入学  
 昭和6年、佐賀県立小城中学校に赴任。2年後に結婚、小城町にアトリエを作る  
 昭和9年頃から東光展、帝展(のち文展、現在の日展)に出品。県立農芸学校、高等女学校を経て佐賀師範学校教諭兼教授となる  
 昭和24年4月、佐賀大学教育学部の兼任教授  
 昭和28年4月、佐賀大学教育学部に特別教科(美術・工芸)教員養成課程一通称「特美」開設  
 昭和30年早春、佐賀市松原町83(中ノ小路)に転居  
 昭和35年、佐賀県文化会議が創設、初代会長に就任  
 昭和37年、日展審査員となる  
 昭和61年、死去



「自画像」1929(昭和4)  
個人蔵

# ISHIMOTO

## 帝王と呼ばれた男 家族を見つめる男



「裸婦を描く」1952(昭和27)  
佐賀県立美術館蔵



「晩夏」1953(昭和28)  
佐賀県立美術館蔵

# THE

佐賀大学に「特設美術科」を創設した立役者、石本秀雄(1908-86)。佐賀師範学校、佐賀大学で長く教鞭をとり、九州一円の美術教師の育成に力を注ぎました。その影響力の大きさから「帝王」とあだ名されていたといいます。教育者として、また、画家として極めてエネルギッシュに仕事を重ね、日展や東光展を舞台に数多くの作品を発表しました。今回は、その中から、人物画にスポットをあて、佐賀大学所蔵の《白い服の少女》(第6回日展1950)ほかの作品を、資料を添えて紹介します。  
 石本は、多くの作品を自宅アトリエで描きましたが、家族の近くで何に囲まれ、何を見ながら描いたのか。愛情あふれる視線が感じられる作品群を通して、その創作の秘密に迫ります。

\*温故知新\*写真募集中! 石本秀雄先生に関連する写真をお持ちの方は佐賀大学美術館にお知らせ下さい。